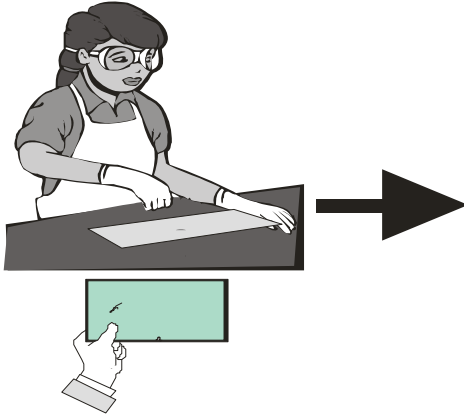
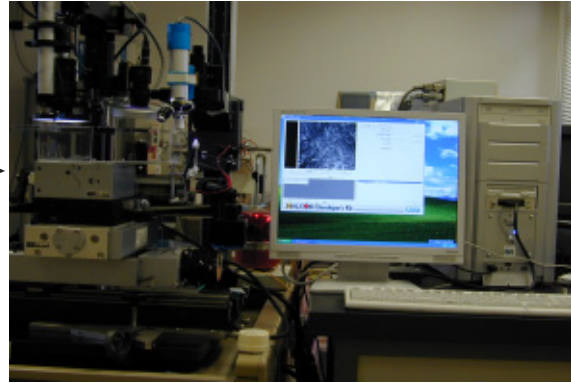


ガラス基板の傷を自動検出

画像処理技術により液晶用ガラス基板等のキズを自動的に検出する技術を開発しました。キズの形状、大きさ（ $3.5\mu\text{m}$ まで）位置を自動で検出し、品質の向上が図れます。



人手で目視検査

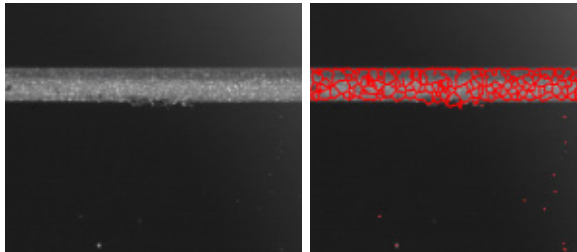


画像処理により自動でキズを検出

ガラス基板端面のキズの画像処理結果

紫外線カメラ

処理結果

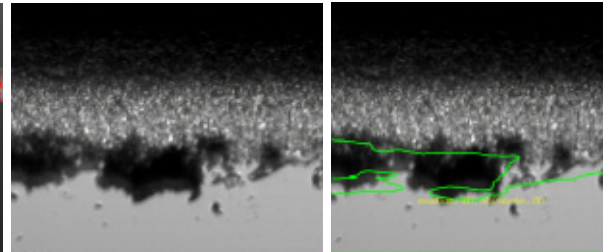


良く見える

怪しい(欠陥のようだ)

位相差カメラ

処理結果



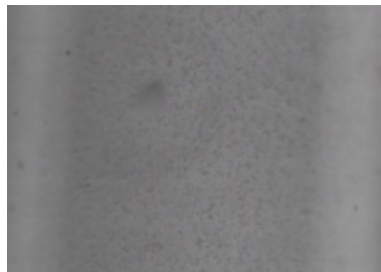
小さい部分もクッキリと見える

欠陥と判定

蛍光管検査のための装置開発



検査装置



入力画像



処理結果

システムの用途：画像処理メーカー（ガラス等の透明物の評価）

センサ利用微細欠陥自動検出技術開発研究

担当者：愛媛県工業技術センター 主任研究員 重松 博之